

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		こどもプラス盛岡南教室				公表日		令和8年3月23日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	1	・ボール遊びなどは、周りの状況を確認して活動しています。 ・収納スペースを新たに確保してホールを広く確保していきます。	・運動できる人数が限られることがある。 ・今後もスペースの有効活用を心掛けていきます。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	2	予約に応じて配置人数の調整を行っています。	・適切である日とない日がある。 ・配置には問題ないが、放デイと合算定員10人で障がい特性により人員が不足していると感じるときがある。 ※・法令上の基準は満たしているため、今後も職員の配置とスキルアップに努めていきます。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	1	・玄関口からホールまでほぼフラットになっている。 ・視覚補助を用いるなど事業所内の構造化に努めています。情報伝達についてもカード等を活用し、配慮を行っております。	引き続き子どもたちが分かりやすかつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7	0		引き続き環境整備に努めてまいります。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7	0	活動内容やお子さんの状況に合わせ、適宜スペースを分けて活動しています。	引き続き環境整備に努めてまいります。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		6	1	・朝のミーティングで意見交換とノートを取り、様々な意見を取り入れながら改善点があれば改善しています。 ・午後の出勤者に回覧しています。	引き続き、よりよい支援ができるように努めていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7	0	頂いた評価やご意見をもとに職員間で話し合い、改善につなげています。	全職員で保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めてまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7	0	日々の朝礼や職員会議等で話し合い、改善につなげています。	引き続き、よりよい支援ができるように努めてまいります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		0	7	第三者評価は行っていません。	必要に応じて実施を検討してまいります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5	2	本部研修は全職員、外部研修は必要に応じて参加しています。	・常勤は行っているが、パート職員も行ってほしいと思う。 ・パート諸金も含め、引き続き本部研修や外部研修に積極的に参加し、学びの機会を確保しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	1	支援プログラムはホームページに公表しています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めてまいります。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		7	0	複数の職員でアセスメントを行い、子どもの課題を分析しています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めてまいります。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6	1	複数の職員でケース会議を開き、作成しています。	・パート職員も含めたケース会議を実施してまいります。 ・引き続き、より良い支援ができるよう努めてまいります。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		7	0	支援計画に沿った活動を行うようにしています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めてまいります。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	7	・標準化されたアセスメントツールは使用していません。 ・グループ内で共通したアセスメントツールの活用、日々の行動観察や保護者からの聞き取りをもとに行っています。	日々の観察や保護者からの聞き取りをもとに、引き続きより良い支援ができるよう努めていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけではなく、保護者や園・学校等に関しても必要に応じて対応しています。	引き続き、より良い支援ができるよう努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	意見を取り入れながらチームで行っています。	引き続き、職員間で意見交換しながら、プログラム立案が行えるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・個々に合わせて毎日異なる「運動あそび」を基本から応用に至るまで細やかに設定しています。 ・「静かな活動」や創作活動など毎回異なった内容を取り入れています。	子どもたちが楽しく活動できるよう日々工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	基本は運動遊び、静かな活動（集団活動）を中心に取り組んでいますが、本人や保護者からの要望に沿って、個別活動の目標を設定しています。	計画に沿った支援ができるよう取り組んでいます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	朝礼等で振り返り、保護者と話した内容などを共有しています。	職員間で打ち合わせを実施し、支援に活かしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・支援終了後は、送迎等で職員が全員そろうのは難しいため、気づいた点などは記録に残し、翌日に話す場を設けています。	職員間で打ち合わせを実施し、支援に活かしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	グループ内独自の記録方法を用いて、分かりやすいように留意しながら記録を取っています。	引き続き日々の記録を徹底していきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	支援計画の更新時や、その他必要に応じて適宜モニタリングを実施しております。	引き続き、より良い支援ができるよう努めていきます。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心にして参画しております。必要に応じて他の職員も参画できるよう調整をいたします。	内容については事業所内で共有を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・相談支援事業所との連携調整は随時行っています。 ・契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を控え連携の体制を整えています。	左記の内容で今後も対応していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	保護者要望に応じて適宜連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	7	機会がありませんが、必要に応じて行います。		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		・何かあったときのみ伝えあっている。 ・引き続きコミュニケーションが取れるように努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7	家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等、個別に対応しております。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	作成時に聞き取りを行い、保護者の要望や意向の確認を行っています。	今後も要望や意向の確認をしながら作成していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	計画内容の説明・同意をもらっています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	保護者とのコミュニケーションを常に取り、相談しやすい関係性の構築に努めています。	引き続き、保護者との信頼関係が構築できるように努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	ニーズが少ないため、実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	3	契約時に体制については説明しています。	相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	4	HPSNSに掲載し、事業所の活動紹介、自己評価結果の発信を行っています。	・SNSやHPIはあるが活用されていない。 ・書き込みはあるが更新されていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報書類は鍵付きの書庫で管理しております。また、フィードバック等は他の保護者との距離をとり実施しております。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いや、フィードバック時の距離など、十分に留意いたします。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	状態に応じて視覚支援等利用して情報の伝達をおこなったり、意思の疎通ができるように努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルは事務室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っています。	・各マニュアルは策定しているが、伝達・周知の方法を検討する必要がある。 ・引き続き、訓練等の実施と内容の周知方法検討し、実施を行います。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に避難訓練やその他研修、マニュアル等の読み合わせを行っています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に服薬や発作等の気取りを行い、フェイスシートに記載してもらっている。服薬は与薬依頼書に記入してもらい、処方箋での説明書をコピーしている。	てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーの有無・内容についてはフェイスシートに記入の上ご提出いただいています。 ・飲食のイベント前に都度、アレルギーの有無の確認をしています。	・医師からの指示所はありません。保護者からのアセスメント引継ぎで対応しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・契約時に安全に関する説明はしています。 ・安全計画を策定し、計画に沿って社内研修や訓練を行っています。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・ 契約時に安全に関する説明はしています。 ・ 熱中症の注意喚起など、何かお知らせすべき事項がある際は、書面の配布で周知しております。	引き続き、内容の周知を図っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	日々の打ち合わせの中で共有・対応の検討を行っております。また、ヒヤリハット報告書を作成して職員会議の時に振り返りをしています。	引き続き、安全に留意し支援を行っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に虐待防止研修を実施しています。	・ パートさんの研修参加も検討して欲しい。 ・ パートさんにも研修参加の時間を設けていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	契約時に説明し、重要事項説明書にも、やむを得ない場合の定義についても説明しています。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。